

No.	審査項目	審査のポイント
1 事業者の適格性		
1	経営理念・経営方針	経営理念・方針，役員や事業内容は入居事業者として適正か。
2	法令遵守	法令違反等で行政処分や刑事処分を受けていないか。
3	労務管理	3年以内に労働基準監督署から指摘を受けていないか。
2 事業の安定性		
1	経営の安定性	直近3年間の経営は安定しているか。
2	社員数	新農場における人材の確保はできるか。
3	事業の継続性	牛飼養事業以外の事業を行っており，全体として経営が安定しているか。
3 牛飼養事業		
1	牛飼養事業の現状	農場数や牛飼養頭数はどの程度か。
	うちJGAP認証	JGAP認証農場があるか。
2	牛一環飼養の現状	一貫飼養の実績があるか。
	うちJGAP認証	一貫飼養農場のJGAP認証農場があるか。
3	事業実施体制	従業員は自社の社員等のみか。社員以外の従業員がいる場合，連携先・委託先の会社は事業者と同程度の適正性を保持しているか。
4	白血病対策	これまで，白血病への対策を行ったことがあるか。 ない場合，SKLVで対策を行うことができるか。（意欲があるか）
	罹患牛の移送先の確保	白血病罹患牛をSKLV外に移動させることは可能か。
5	導入計画	入居後3年以内に350頭の導入が可能か。
6	アニマルウェルフェアへの取組み	アニマルウェルフェアへの取組みを行っているか。 行っていない場合，入居後取り組むことができるか。
7	加工場・出荷先の確保	加工場を所有しているか。 所有していない場合，出荷先の販路を確保できるか。
8	海外展開	海外への輸出販路はあるか。 ない場合，輸出する意欲があるか。
9	国産飼料・敷料の使用	極力国産（できれば地元産）の飼料及び敷料を使用することができるか。

4 社会課題への対応

1 家畜排せつ物	家畜排せつ物の処理方法は確立できるか。
2 S D G s への取組み	S D G s に取組んでいるか。 取組んでいない場合、取組む意欲はあるか。
3 地球温暖化対策への取組み	地球温暖化対策に取組んでいるか。 取組んでいない場合、取組む意欲はあるか。
4 雇用創出	曾於市に在住する人を雇うことができるか。
5 地域活性化	市や、一般財団法人、その他の関係機関・企業などと連携し、人口減少や畜産の更なる振興などに協力することができるか。

5 次世代型畜産・ブランド化

1 次世代型畜産	次世代閉鎖型畜舎や L 5 G, I o T 機器を積極的に使用し、スマートで最先端の畜産業を探求する意欲があるか。
2 ブランド化	飼養し出荷する牛をブランド化する意欲があるか。

6 人材育成について

1 実習の受入れ	獣医学・畜産系の大学や高校の実習を受け入れることができるか。
2 社員教育	従業員に J G A P やアニマルウェルフェアなどの教育を行っているか。 行っていない場合、今後行えるか。